

南国市 老人体育大会

八チーム七百人が 大接戦を展開



はやく、はやく

市老人クラブ連合会・県老人クラブ連合会主催の「南国市老人体育大会」が十月二日、市民体育館で行われました。

スポーツを通じて、健康の保持と生きがいを高めた老人福祉の推進のために開かれていたこの大会を、楽しみにしているお年寄りも多く、今年も各地区から約七百人が参加しました。

門田早苗大会長のあいさつの後、八チームに分かれて競技開始。ボール送りや玉入れに熱戦が繰り広げられました。

今年は、まれにみる大接戦で、応援も最後まで休む間もないほどでした。

結果は次のとおりです。

優勝 北部連合チーム
二位 野田・岩・前浜チーム
三位 岡豊チーム

中央家庭教育学級始まる

いきいき、のびのび子育てを

中央家庭教育学級の開講式が九月二十四日に市役所で行われました。

この家庭教育学級は、子供の人格形成における家庭教育の重要性が叫ばれているなか、「いきいき、のびのび子育て学習」をテーマに、

三和、日章、大篠、後免野田小学校で来年少小生に入学する子供を持つ親を対象に今年初めて行うものです。

この日の開講式には、学級生約二十人が参加しました。鈴江教育長のあいさつの後、広報の「あゆ

タイの小学生姉妹

大篠小に一日入学

海外教育事情視察が縁で



お姉さんがタイの踊りを披露

学校休みを利用して来日。アヌボンさんと二十年来の友人で高知市に住む自営業の藤田至誠さんは相談を受け、この夏にタイの教育事情を視察した南国市教育委員会に申し込み、今回の訪問となりました。

藤田さんといっしょに大篠小を訪れた親子はまず下村校長にあいさつ、同校に人形を贈りました。教育委員会からは二人に手動鉛筆削りを贈呈し、タイと日本の教育について話し合った後、校内を見学。タイの小学校にはないプールや児童向けの本がそろった図書室に興味を持っていました。

続いて四年二組（松尾寿一教諭担任、四十人）の児童との交流会が開かれました。二人は前の晩いっしょうけんめい練習したという日本語で「皆さんにお会いできてうれしい」とあいさつ。四年二組の児童は笛と合唱で「サモア島の歌」など三曲を演奏し、自分たちが作った旗や絵、書などをプレゼントしました。その後、給食もいっしょに食べ、すっかり打ち解けた様子で一日入学を楽しんでいま

タイのバタイ・ウィッタヤー小学校に通う姉妹が十月四日、大篠小学校（下村章光校長、児童八百六十八人）を訪れ、授業参観や児童との交流を行い、両国の親善を深めました。

同校を訪れたのは、タイのナコンパトム市で畜産業を営むアヌボン・チューチャンバリシキッドさんと長女で六年生のソビダーちゃん、次女で四年生のケスリーちゃんです。

アヌボンさんは、ソビダーちゃんが小学校最終学年であることから、中学校に上がる前に日本の小学校の実情を見せてやりたいと、

国分川をきれいにする会結成

コイ五百匹を放流

きれいな国分川を次の時代に伝えるようにとのほど「国分川をきれいにする会」が結成されました。

国分川は南国市の中心部を流れ、豊かな水量と自然で市民に安らぎを与えてくれています。周辺には民家も少なく、不法投棄や生活排水の影響はほとんどありませんが、徐々に水質が悪くなっています。

この会は、ごみの不法投棄などによる国分川の汚染を防止、清流を取り戻して国分川を市民の憩いの場にするのが目的です。

九月二十四日には発起人と集まり、結成されたものです。

九月二十四日には発起人と集まり、結成されたものです。

市関係者約二十人が市役所に集まり、結成会を行い、官民一体となって国分川の保全に取り組むことを確認。その後国分川に場所を移し、コイ五百匹を放流しました。

国分川へのコイの放流は七月に稚魚七千匹を放流したのに続いて三回目。国分小学校の四年生も参加して体長二十センチから四十センチのコイを次々に放流しました。

会では今後国分川の監視や定期的な清掃、コイの放流などを行ったり市関係者が出席して工事の安全を祈願しました。



子育てを考え合う

み「欄でもおなじみの家庭教育学級専任講師田嶋静代さんが「人間らしい人間に」と題して講義。参加者は月一回六ヶ月間の日程で日常生活やしつけについて考えることになっています。

稲生保育所 起工

来年2月完成予定

稲生保育所の移転新築工事の起工式が、十月五日行われ、保育所



きれいな川にとコイを放流

ていくことにしており、十月にも放流を予定しています。

コイを捕らないで

この放流の後、網でコイを捕っている姿をときおり見かけますが、せっかく放流したコイの姿がこのような形で消えることのないよう市民みんなで見守りましょう。

無事故を祈り看板設置

○高知東道路沿い○

秋の交通安全運動に先立ち、笠ノ川の高知東道路沿いに交通安全の看板を設置。九月二十日に点灯式が行われました。

東道路は高知自動車道と瀬戸大橋の開通に伴い県外車流入の玄関口として、また国道三三三線と五五線を結ぶ南北道の役割を果たす幹線道路として一日平均六千八百

台の車両が通行しています。しかし、新設道であるためこれまで交通安全を呼び掛ける看板は設置されていませんでした。そこで交通安全協会南国支部と安全運転管理者協議会、南国警察署が約三百万円をかけて製作。

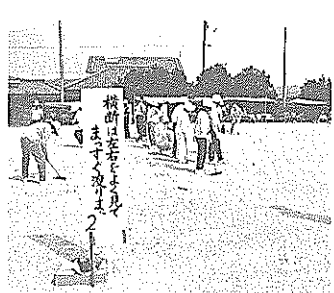
看板は幅七、高さ三・五メートル、シートベルトをした土佐闘犬と長尾鶏が描かれており、目の部分のライトが点滅、看板の下には文字を差し込むことができるようになっています。

この日の点灯式には原南海雄南国警察署長や立田辰巳交通安全協会南国支部長ら約三十人の関係者が出席。交通安全を祈ってテープカットを行いました。

十月一日号広報なんこく三ページの座談会の出席者「狭野芳郎大漆小PTA会長」は「狭野」さんの誤りでした。おわびして訂正いたします。

おわびと訂正

十月一日号広報なんこく三ページの座談会の出席者「狭野芳郎大漆小PTA会長」は「狭野」さんの誤りでした。おわびして訂正いたします。



安全標語を読みながら元気にプレー

ゲートボールで交通安全意識を高める

高齢者の交通安全意識を高めようと、第四回南国市交通安全ゲートボール大会が、九月二十九日に葛ヶ池中学校北側のグラウンドで開催され、二十九チーム、百八十人が参加しました。

これは、交通安全市民会議などが主催して、高齢者、特にバイクや歩行者の事故防止のために開いているものです。

開会式の後競技を開始。参加者は「夜間の外出は明るく目立つ服装に」「横断は左右をよく見て」などと書かれた看板を大声で読み上げながらプレーしていました。結果は次のとおりです。

一位 〇〇（岡豊） 二位 カタバミ（岡豊） 三位 さくら（大篠） 四位 白山（大篠）